

# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西日本シティ銀行/(仮称)北九州ビル	階数	地上8階 地下1階
建設地	福岡県北九州市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	150 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,500 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年1月21日
敷地面積	1,525 m <sup>2</sup>	作成者	(株)日建設計 李盈祐
建築面積	1,114 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	8,014 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★★☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	~80%
③上記②以外の	80%
④上記+	80%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.8

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
大通りに面したメインファサードとなる北面のデザインはガラスの縦基調デザインとし、街角の目印となることを目指した。北面と西面で異なる外装計画とし、敷地形状を生かしたデザインとした。街のランドマーク的役割を果たすことを目指す。北側と西側と東側には植栽を配置し、豊かな歩行者空間の形成を目指す。各階に内庭を設け、内外で豊かな緑空間を提供する。		
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
敷地の北面が前面道路に面するため、北面のデザインをダブルスキンとし、遮音性能・内装の吸音性に配慮した。ダブルスキンの機構と、西面はLOW-Eガラスを採用し、建物の断熱性能を十分に確保する計画とした。建物の向きを利	一人当たりの執務スペースは1人当たり、12㎡以上のレベル5で計画し、かつ2.8m以上の天井高さ・階高・バリアフリー化を行い、維持管理しやすく機能更新しやすい計画としている。	建物の機能性に配慮しつつ、敷地内の緑化・屋上緑化に積極的に取り組んでいる。北九州らしさを表現したメインファサードの北面のデザインはスチールマリオンを利用したガラスの縦基調デザイン
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
ダブルスキンの採用、LOW-Eガラスの採用、部分的な自然換気、屋上への太陽光発電パネルの設置を行っている。高効率の設備機器を採用している。	躯体材料へリサイクル材を採用、エコマークを取得した建築材料の採用を計画している。躯体と外壁、躯体と仕上げが容易に分別可能であり、再利用可能なユニット部材を広範囲に採用している(OAフロア)。	3面が道路で囲まれた敷地であるため、各道路から外壁面をセットバックさせ歩行者スペースと緑化スペースを確保した。8階には屋上緑化を計画している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される